

in 日比谷公園

復興応援マルシェ

# 宮城げんき市場

宮城の旬を食べて買って応援してください。



## 食べて遊んで聞いて見て! 復興支援!

CONTENTS

- ★ 宮城県(気仙沼・石巻・女川)の特産品(海産物加工品、乾物等)を出展販売!
- ★ 宮城の食材を使った屋台(気仙沼ホルモン焼き、石巻焼きそば、焼きほたて、焼き笹かまぼこ他)を設置し、被災者の方々が販売!
- ★ 自治体のPRコーナー設置(観光パンフレット、地元食材の紹介等)
- ★ 震災写真展
- ★ 家族で楽しめるバスケットボールコーナー!
- ★ その他、飲料の販売あり!

※ 被災地の方々の販売による売り上げは、すべてお持ち帰りいただけます。



主催：海の里創造プロジェクト

共催：一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション、NPO法人全国てらこやネットワーク

協賛：株式会社伊藤園

後援：東京都、千代田区、気仙沼市、石巻市、女川町、気仙沼商工会議所、石巻商工会議所、女川町商工会、気仙沼観光コンベンション協会、石巻観光協会、女川町観光協会、気仙沼市物産振興協会、

協力：ゼビオ株式会社

お問い合わせ：海の里創造プロジェクト tel：03-3507-5806 (アズソリューションズ内)

MCP



# 宮城の旬を食べて買って応援してください。

2011年3月11日、午後2時46分。  
一時は絶望の淵に立たされた被災地“東北”

あれから2年が経過した現在、その東北は少しずつそして少しだけ“笑顔”を取り戻してきているように思います。一方で被災地ではない地域からすれば、この2年で何が変わったのかと問えば、被災地への想いが薄くなってしまったこと。

東京をはじめとした関東の台所の一翼を担い支えているのは、東北の海産物や農作物そして畜産物。東北の食材が安定的に供給されてきたからこそ、関東に活力が生まれてきたのではないのでしょうか。

豊かな海も田んぼも畑も震災による津波で何一つ生産できない状態が続いてきた東北が、少しずつ生産を再開しています。

大きなことはできませんが、ずっとお世話になってきた東北への恩返しとして、東北の食材を食べて、元気づけることはできるのではないかと。—そう考えました—

なかでも、美味しい食材の宝庫・宮崎の旬を「マルシェ」(marche・フランス語で市場や市という意味)スタイルで関東地域の方々にお届けします。

—宮城の旬を食べて買って応援してください。—

この企画は、食の観点から東北の復興を応援して行く事を目指す取り組みです。

## 日比谷公園 イベント会場MAP



開催時期：2013年8月24日(土)～25日(日)

24日 10:00～17:00 25日 10:00～16:00

開催場所：日比谷公園(東京都千代田区日比谷1-6) にれの木広場

入場料：無料

主催：海の里創造プロジェクト

共催：一般社団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション、NPO法人全国てらこやネットワーク

協賛：株式会社伊藤園

後援：東京都、千代田区、気仙沼市、石巻市、女川町、気仙沼商工会議所、石巻商工会議所、女川町商工会、気仙沼観光コンベンション協会、石巻観光協会、女川町観光協会、気仙沼市物産振興協会

協力：ゼビオ株式会社